

## 5. 私の居場所

(正面・遠)

……専務の秘書、ですか。

あ、あのっ！こんなことを言うのは間違っていると思いますが、私、営業目標は異動以来常に達成していましたし、私が発案したプロジェクトも、ようやく動き出す目途が立ちました。

ここで発案者である私がプロジェクトを外れたら…

……そ、そう…ですね。申し訳ありません。

少し、つけあがっていると思われても仕方のない発言でした。

確かに、私の携わった中には、いくつか引継だった物もありますが…

でも、あのプロジェクトは、私の初めての！！！！

……いえ、申し訳ございません。

決して秘書を馬鹿にしているというわけではなく…。

……給料が営業と変わらないのはありがたいですが。

……この内示が変更になる可能性は？

……ゼロ、ですか。

承知しました。

それでは、失礼いたしま……

え？……耳打ちでないと、話せない？

SE: 普通で速度でハイヒールで歩く音(※だんだん FO して)

SE: 静かに重役の部屋の扉を閉める音

※ここで場面転換なので少し大きめに

SE: ゆっくりと会社の廊下をハイヒールで歩く音

※ハイヒールの音を小さく残したままナレーションをかぶせる

(ナレーションここから)

君が来てから一か月が経った。

毎日、仕事を探しては、なかなかいい仕事に巡り合えず、  
がっかりして帰る君を励ましていた。

私は順調だったはずの仕事で、営業職から外された。

社内の男性社員から、良い顔をされていないのは知っていた。

私のいる会社は創業から長いだけあって、まだまだ古い体質で…

革命的なことを嫌う傾向にあった。

女性はお飾りで、顔がそこそこなら受付嬢か、秘書。

社内の有望株か、取引先と結婚して、その後は内勤業務に徹していく…。

私は…、自分で切り開いていく…

サポートではなく、自分の力で…

そんな世界に憧れていたのに…

(ナレーションここまで)

SE: マンション一室のドアを開いて閉じる音

(正面・遠)

(司、外で飲んできて、既に出来上がっている為、呂律も回らない。カラ元気)

たっだいまあ～。

司ちゃん、帰ってきましたあ～。

…そっか、君もさっき帰ってきたところなんだ。

え？……そんなに飲んでないよ？

だって、駅から家までちゃーんと歩いて帰ってきたもん。

それとお～、じゃじゃーん！

SE:酒瓶や缶の入ったビニールを床に置く音

いっぱい買ってきちゃった～。

明日は休みだし、たあ～くさん飲むぞー！！！！

SE:缶ビールのプルトップを開ける音

んくっ…んくっ…んくっ…ぷは——！

うまい！！

…今オヤジっぽいって思ったでしょー？

いいよ、どう思ってくれてもさ！

いっそオヤジだったらよかったなあ～。

私さ、次の期から秘書課だっけさ！

…そっ、内示が出たの！

ここだけの話ね～？

私うちの会社で営業成績 Top5から降りたことないんだよ？

ん～…50 人はいるよ～、営業。

それが、あっさり外されたの！

……なんか、話したそうだけど、どうしたの？

……え？！仕事決まったの？！

おめでと！

じゃあお祝いしなきゃ！

よーし、今日くらいは一杯付き合いなさいよ！

SE: 缶ビールのプルトップを開ける音

(正面・近)

はい、かんぱ～い！

SE: 缶ビール同士で乾杯する音

……ふふふふふ、大丈夫だよ。

そんなチビチビ飲まなくても。

よく読んでみて！ノンアルコールだから！

…そっか、君は次も営業なんだー。

やりがいあるね、頑張って！

……それでさあー、社長秘書でも出来りゃ～まだ違うわよ？

ぜんっぜん仕事が出来ないって噂の、専務秘書にさせられたのよ！  
社長の親族だってだけで、専務に居座ってるお荷物！  
……ん？まだ何か報告があるの？  
え？……住む家も見つけてきた？  
そっか……、君もここを出ていくんだねえ…。  
あ、ううん、ごめん！……おめでとう。

（一転暗く、独り言のように※ビールを飲みながら）  
ごくっ…ごくっ…  
……会社の業績よりも、私利私欲。  
……会社の大きさよりも、どんな花を自分の横に置いて、咲かせているか。  
……未来よりも、今。  
……退職前のオッサンの、ワガママに巻き込まれちゃった……。

（司、徐々に泣き出して）  
ごく…ごく……  
内示を出される時に、営業でいたって、駄々こねたの。  
なんとか内示のうちに、営業でいられる方法を探したかった…。  
でも、ダメだった…。  
一時(いつか)業績を上げていても、それは若くてきれいなうちだって。  
……色仕掛けが効かなくなったら、続かないって。

(悔しさに、泣きながら怒りだして)  
色仕掛けなんて、一回もしてない！  
泣き落としだってしてない！  
私はただ純粋に、誠心誠意を尽くしただけなの！  
でも…、結局評価されてなかった。  
見た目だけだって思われてた…。

(冷静になったり、怒りだしたり情緒不安定に)  
……専務室を出る前にね、言われたんだ。  
この部屋は防音だから、これからたくさん楽しもうって。  
私、こんなことで会社辞めたくない！  
ずっとずっと…、頑張ってきたのに…。  
証拠掴んで、訴えて…でも、それで何になるの？！  
あのオヤジの首が飛ぶまで、どれだけ時間をかけなくちゃいけないの？！  
だったら……、耐え忍ぶか、辞めるかしかないじゃない…  
……私は、好きな人とか、したくないの。  
何かに向かって必死で、頑張ってた、他人を見たくて評価しない…  
私を、私の内面をしっかりと見てくれる人とじゃなきゃ…

SE: 司が視聴者に抱きつく音

(正面・密着)

君が…彼氏だったら…良かったのに…

そしたら…ずっと、ここにいてくれるのに……

(激しくキスをし始める)

ちゅっ…ちゅぷちゅぷ…ちゅぷ…ちゅぷ…ちゅぷ…

ちゅぷちゅぷ…ちゅぷっ…ちゅぷ…ちゅぷちゅぷ…

※キスの音で FO